

世 界 史

I (配点 36)

次の(A)(B)の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

(A) ローマは、最初の前8世紀半ばにティベル川のほとりに建てられた小さな都市国家にすぎなかった。前6世紀末に王政を廃止して共和政に移行したローマは、コンスル(執政官)と元老院を中心とする指導体制を構築したが、権力を独占する貴族に対する平民の不满から身分闘争が起こり、前3世紀に貴族と平民の政治上の権利は同等とされた。

身分闘争と並行する時期に、ローマはイタリア半島内の他の都市国家を次々と征服して、前3世紀前半にはイタリア半島をほぼ統一した。ついでローマは、<sup>イ)</sup>3回にわたるポエニ戦争でカルタゴを滅ぼし、また東方のヘレニズム諸国をも征服して、地中海の覇権を手にするにいたった。しかしこの過程で、戦争による農地の荒廃や、属州から流入する安価な穀物によって、国内の中小農民は没落して共和政は変質し、有力者同士が政権を争いあう「内乱の1世紀」となった。少数の有力者による、<sup>ウ)</sup>2度の三頭政治をへて、最終的に、権力闘争を勝ち抜いた<sup>エ)</sup>オクタウィアヌスによる事実上の独裁、すなわち帝政ローマが開始された。

(1) 下線部ア)に関連して、貴族と平民の身分闘争に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

a リキニウス・セクスティウス法によって、コンスルの一人は平民から選ばれることになった。

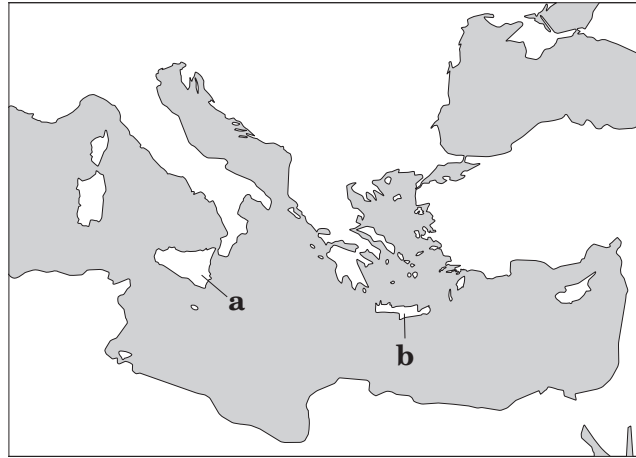
b ホルテンシウス法によって、平民会の決議が元老院の承認なしに国法となるよう定められた。

c 十二表法が制定され、慣習法が成文化された。

① a→b→c      ② a→c→b      ③ b→a→c

④ b→c→a      ⑤ c→a→b      ⑥ c→b→a

- (2) 下線部イ)に関連して、第1回ポエニ戦争でローマが獲得した属州と、その位置の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 2



- ① シチリア島－a                      ② シチリア島－b  
③ クレタ島－a                        ④ クレタ島－b

- (3) 下線部ウ)に関連して、三頭政治の参加者に関する記述 a・b の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 3

- a カエサルは、ガリア遠征を行った。  
b アンтониウスは、アクティウムの海戦で敗れた。

- ① a－正    b－正                      ② a－正    b－誤  
③ a－誤    b－正                      ④ a－誤    b－誤

- (4) 下線部エ)に関連して、オクタウィアヌスに関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 4

- ① 第1回三頭政治の一員であった。  
② プトレマイオス朝を滅ぼした。  
③ 元老院から、アウグストゥスの称号を与えられた。  
④ 元首政（プリンキパトゥス）を開始した。

(B) ローマ帝国は、1世紀末～2世紀末の<sup>オ)</sup>五賢帝時代に政治・経済が安定し、「ローマの平和」(パクス=ローマーナ)とよばれる最盛期をむかえた。地中海は「ローマの海」となり、成長した各都市は舗装された道路で結ばれて、「すべての道はローマに通ず」の状態が完成されたのである。

<sup>カ)</sup>3世紀頃から、内外の大きな変化に見舞われたローマ帝国は動揺期に入った。同じ頃、国内で<sup>キ)</sup>キリスト教が拡大しつつあり、ローマを悩ませていた。ディオクレティアヌス帝はこれらに対して強権的手法でおさえこもうとしたが、4世紀の<sup>ク)</sup>コンスタンティヌス帝は一転、キリスト教徒を懐柔することによって状況の打開をはかろうとした。しかし、4世紀後半のゲルマン人の大移動はローマに決定的打撃を与え、ローマ帝国は分裂、そして<sup>ケ)</sup>西ローマ帝国滅亡という終焉<sup>えん</sup>をむかえることとなった。一方、東ローマ帝国(ビザンツ帝国)は、その後約1000年間、東ヨーロッパでその独自の歴史を展開し続けた。

(5) 下線部オ)に関連して、次の文中の空欄  ・  に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

帝の時、ローマ帝国の領土は最大となり、マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝は、『』を著した。

- ① アートラヤヌス      イ-神の国
- ② アートラヤヌス      イ-自省録
- ③ アーカラカラ        イ-神の国
- ④ アーカラカラ        イ-自省録

(6) 下線部カ)に関連して、3世紀のローマ帝国に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① ラティフンディアが拡大した。
- ② 皇帝が、パルティア軍の捕虜となった。
- ③ 軍人皇帝時代の混乱期をむかえた。
- ④ スパルタクスの指導する奴隷反乱が起こった。



II (配点 36)

次の文を読み、(1)～(9)の問いに答えよ。

[解答番号  ～  ]

15世紀末以降、ヨーロッパ諸国の大船団が南アジアや東南アジアの海上に姿をあらわすようになった。大航海時代の開幕である。ア) アフリカ回りのインド航路開拓に成功したポルトガルは、インド西岸に拠点をおき、さらに東南アジア方面へと勢力を伸ばして、香辛料貿易を独占した。また、スペインの船団は太平洋回りでフィリピンに到達した。スペインはすでにラテンアメリカの植民地化を進めており、イ) 太平洋を経由してメキシコとフィリピンを結ぶ貿易が行われた。ウ) ポルトガルとスペインは、一時激しく対立したが、16世紀後半、スペインは力の衰えたポルトガルを併合した。そのスペインも、国内産業の育成を怠って国力が伸び悩み、17世紀初めには力を失った。

17世紀に入ると、エ) 東インド会社を設立した諸国がアジアに進出した。まずオランダがジャワ島に拠点を設け、ポルトガルから香辛料貿易の主導権を奪った。同じくアジア進出をめざしたイギリスは、当初はスペイン・ポルトガルと対抗する必要上、オランダと手を結ぶこともあった。オランダとイギリスは、オ) ピューリタン革命期のクロムウェルの登場以来、3度にわたって戦争を起こしたが、このイギリス=オランダ戦争を通じて、イギリスの海上覇権が強まることとなった。その後、カ) 名誉革命でオランダ総督をイギリス王にむかえたことで、イギリスとオランダは手を結んだ。

イギリスは、キ) 1623年にオランダとの衝突で敗れて以後、インドネシアから手を引き、インド経営に注力していたが、その前に立ちはだかったのがフランスであった。ク) フランスのルイ14世は軍隊を増強して侵略戦争を起こし、海外進出にも本腰を入れ始めた。英仏両国は17世紀末以来、ケ) 第2次百年戦争とよばれる植民地争奪戦を世界的に展開した。最終的に、18世紀半ばの七年戦争と連動する植民地戦争によって、イギリスの植民地争いにおける優位が事実上確定した。

(1) 下線部ア)に関連して、ポルトガルのインド航路開拓に関する次の文中の空欄  ・  に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。

ポルトガルの  は1488年にアフリカ大陸南端に達し、その後、1498年に  がインドのカリカットに到達した。

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| ① <u>ア</u> -バルトロメウ=ディアス | <u>イ</u> -「航海王子」エンリケ  |
| ② <u>ア</u> -バルトロメウ=ディアス | <u>イ</u> -ヴァスコ=ダ=ガマ   |
| ③ <u>ア</u> -ヴァスコ=ダ=ガマ   | <u>イ</u> -「航海王子」エンリケ  |
| ④ <u>ア</u> -ヴァスコ=ダ=ガマ   | <u>イ</u> -バルトロメウ=ディアス |

(2) 下線部イ)に関連して、この貿易のよび名と、貿易の際使用された貿易船の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 11

- ① レヴァント貿易－ジャンク船
- ② レヴァント貿易－ガレオン船
- ③ アカプルコ貿易－ジャンク船
- ④ アカプルコ貿易－ガレオン船

(3) 下線部ウ)に関連して、15世紀末～16世紀のポルトガルとスペインに関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 12

- ① ポルトガルとスペインはユトレヒト条約を結び、海外領土分割の規約を定めた。
- ② カブラルはブラジルに漂着し、この地をスペイン領と宣言した。
- ③ スペイン王フェリペ2世は、ポルトガルの王位を兼ねた。
- ④ スペインは、レパントの海戦でオスマン帝国に敗れた。

(4) 下線部エ)に関連して、ヨーロッパ各国の東インド会社設立に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 13

- a オランダ東インド会社の設立
- b イギリス東インド会社の設立
- c フランス東インド会社の再建

- ① a→b→c      ② a→c→b      ③ b→a→c
- ④ b→c→a      ⑤ c→a→b      ⑥ c→b→a

(5) 下線部オ)に関連して、クロムウェルに関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 14

- ① 航海法を廃止した。      ② 鉄騎隊を指揮した。
- ③ アイルランドを征服した。      ④ 護国卿に就任した。

(6) 下線部カ)に関連して、名誉革命後の1689年に制定され、イギリス議会政治の確立に寄与した法として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 15

- ① 権利の章典      ② 人身保護法      ③ 議会法      ④ 権利の請願

(7) 下線部キ)に関連して、この事件が起こった地名と、その位置の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 16



- |             |             |
|-------------|-------------|
| ① バタヴィア－ a  | ② バタヴィア－ b  |
| ③ アンボイナ島－ a | ④ アンボイナ島－ b |

(8) 下線部ク)に関連して、ルイ14世時代のフランスに関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 17

- ① ユグノー戦争が終わった。
- ② コルベールによる重商主義政策が行われた。
- ③ 人権宣言が発せられた。
- ④ ナントの王令(勅令)が發布された。

(9) 下線部ケ)に関連して、18世紀のイギリスとフランスの戦争に関する記述 a・bの正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 18

- a スペイン継承戦争で、イギリスはフロリダなどを獲得した。  
 b オーストリア継承戦争で、フランスはシュレジエンを獲得した。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① a－正    b－正 | ② a－正    b－誤 |
| ③ a－誤    b－正 | ④ a－誤    b－誤 |

Ⅲ (配点 48)

次の文を読み、(1)～(7)の問いに答えよ。

[解答番号 19 ～ 30 ]

13世紀末、アナトリア(小アジア)の西北においてオスマン帝国の基礎が築かれた。オスマン帝国は14世紀後半にバルカン半島に拠点を移して 19 を首都とし、ビザンツ帝国の衰退と歩調をあわせるように、半島一帯に勢力を拡大した。ア)15世紀初め、東方から襲来した敵と戦って敗れ、スルタンが捕虜とされる危機も訪れたが、オスマン帝国は国力を回復し、15世紀半ば、20 の時代にはビザンツ帝国を滅ぼして、名実ともにバルカン半島の覇者となった。16世紀初めに 21 朝を滅ぼしてエジプトにも勢力を伸ばしたオスマン帝国は、イ)スレイマン1世の時代に地中海の制海権を握り、ウ)ハンガリーを征服するなど、ヨーロッパ諸国に大きな脅威を与えた。

17世紀後半以降、オスマン帝国は国力を増したヨーロッパ諸国におしもどされる形となり、ヨーロッパの領土は縮小へと転じるようになった。オーストリアは1699年の 22 条約でハンガリーを奪い、またロシアは黒海沿岸のオスマン帝国領に進出した。19世紀には、オスマン帝国の支配下にあったバルカン半島の諸民族が独立するなど、オスマン帝国は「瀕死の病人」と揶揄される存在となった。衰退するオスマン帝国内の諸問題にヨーロッパ諸国が介入するエ)「東方問題」も、激しさを増した。

こうした中、オスマン帝国内では近代化の動きが生じ、スルタンによる 23 とよばれる西欧化改革も行われた。しかし、オ)1876年に起草されたミドハト憲法が停止されるなど、結局体制が大きく変わることはなかった。20世紀初めの革命で憲法が復活されたものの、その後の2度に及ぶ 24 でヨーロッパの領土をほとんど失い、また第一次世界大戦に敗れてアラブ地域の領土も失った。この亡国の危機の中、カ)ムスタファ=ケマルは抵抗闘争に立ちあがり、新たにトルコ共和国が樹立されたことで、オスマン帝国はその約600年の歴史を閉じた。

(1) 19 ～ 24 に当てはまる適切な語句を、解答群1からそれぞれ1つ選べ。

解答群1

- |          |         |            |           |
|----------|---------|------------|-----------|
| ① マムルーク  | ② ニコポリス | ③ サン=ステファノ | ④ バルカン戦争  |
| ⑤ セリム1世  | ⑥ アイユーブ | ⑦ アドリアノーブル | ⑧ カルロヴィッツ |
| ⑨ タンジマート | ⑩ ドイモイ  | ⑪ メフメト2世   | ⑫ クリミア戦争  |

(2) 下線部ア)に関連して、この「東方から襲来した敵」の名、及びその時の戦いの組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 25

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| ① ティムールーアンカラの戦い | ② ティムールーワールシュタットの戦い |
| ③ バトゥーアンカラの戦い   | ④ バトゥーワールシュタットの戦い   |



(3) 下線部イ)に関連して、スレイマン1世に関する記述として最も適当なものを、次の①～

④の中から1つ選べ。 **26**

- ① イクター制を創始した。                      ② ハギア=ソフィア聖堂を建立した。  
③ ウィーンを包囲した。                      ④ イスタンブルを首都とした。

(4) 下線部ウ)に関連して、ハンガリーの歴史に関する記述として誤っているものを、次の

①～④の中から1つ選べ。 **27**

- ① マジャール人がハンガリー王国を建国した。  
② コシューシコが独立運動を起こした。  
③ オーストリア=ハンガリー帝国を形成した。  
④ 第一次世界大戦後、トリアノン条約を結んだ。

(5) 下線部エ)に関連して、「東方問題」に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 **28**

- a ルーマニア・セルビア・モンテネグロの独立が承認された。  
b ギリシア独立戦争が起こった。  
c 第1次エジプト=トルコ戦争が起こった。

- ① a→b→c              ② a→c→b              ③ b→a→c  
④ b→c→a              ⑤ c→a→b              ⑥ c→b→a

(6) 下線部オ)に関連して、ミドハト憲法に関するa・bの記述の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 **29**

- a 大日本帝国憲法を参考にしてつくられた。  
b ロシア=トルコ戦争の勃発を口実に停止された。

- ① a - 正      b - 正                      ② a - 正      b - 誤  
③ a - 誤      b - 正                      ④ a - 誤      b - 誤

(7) 下線部**カ**)に関連して、ムスタファ=ケマルに関する記述として誤っているものを、次の

①～④の中から1つ選べ。 

30
----

- ① ギリシア軍を撃退した。
- ② フランスとカピチュレーションを結んだ。
- ③ 連合国とローザンヌ条約を締結した。
- ④ アタテュルクの称号を贈られた。

IV (配点 30)

次の(1)～(10)の問いに答えよ。

[解答番号 31 ～ 40 ]

- (1) 江南を代表する歴史的都市である南京は、古来、建業・建康・金陵などさまざまな名でよばれ、多くの王朝の首都とされてきた。南京を首都とした諸国・王朝に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **31**
- ① 魏晋南北朝時代の六朝は、南京(建業・建康)を首都とした。
  - ② 南宋は、南京を首都として金に対抗した。
  - ③ 清は、建国当初は南京を首都としていた。
  - ④ 日中戦争中、中華民国の首都は一貫して南京におかれた。
- (2) 天津は水陸交通の要地で、北京とは高速道路や鉄道で結ばれ、その外港の役割を果たしている。19世紀後半に開港されて以来、数多くの天津条約が締結された。清朝末期の対外関係に関する天津条約の記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **32**
- ① アロー戦争中の1858年に結ばれ、開港場の増加などを決めた。
  - ② 清仏戦争後の1885年にフランスとの間で結ばれ、ベトナムの宗主権を放棄した。
  - ③ 甲申政変後の1885年に日本との間で結ばれ、以後両国が朝鮮に出兵する時には相互に通告することを約した。
  - ④ 義和団事件後の1901年に諸外国との間で結ばれ、列国の北京駐屯権などを認めた。
- (3) ソウルは朝鮮半島中央の西部に位置する都市で、朝鮮時代に首都とされ、現在も大韓民国の首都として繁栄している。朝鮮から大韓民国にかけての歴史に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **33**
- ① 骨品制とよばれる身分制が行われた。
  - ② 字喃(チュノム)とよばれる文字が発明された。
  - ③ 第一次世界大戦後、五・四運動が起こった。
  - ④ 大韓民国では、李承晩が初代大統領となった。
- (4) マレー半島の南西に位置するマラッカは、マラッカ海峡に面した港湾都市で、16世紀以来、ヨーロッパ諸国による争奪戦が展開された。マラッカをかつて占領・支配した国として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選べ。 **34**
- ① イギリス                      ② ドイツ                      ③ ポルトガル                      ④ オランダ

- (5) ウラジヴォストークは日本海に面したロシアの都市である。その名称はロシア語で「東方を支配せよ」の意味で、もとはロシアの極東経営の拠点として建設された都市であった。ウラジヴォストークが建設された時期として最も適当なものを、次の年表中の①～④のうちから1つ選べ。 35

<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①</span>
1689年 ネルチンスク条約締結
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">②</span>
1858年 アイグン条約締結
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">③</span>
1860年 北京条約締結
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">④</span>

- (6) パリは長らくフランスの首都であり、さまざまな革命や政変の舞台とされてきた。パリで起こった革命や政変に関する次のa～cの出来事を年代の古い順に並べた場合、最も適当なものを、下の①～⑥の中から1つ選べ。 36

- a パリ=コミューンが樹立された。
- b 大統領ルイ=ナポレオンが、クーデタで独裁権を握った。
- c 8月10日事件で、王権が停止された。

- ① a→b→c      ② a→c→b      ③ b→a→c  
④ b→c→a      ⑤ c→a→b      ⑥ c→b→a

- (7) イベリア半島のトレドは、西ゴート王国の首都として栄えた後、イスラームの支配下に入り、12世紀以降アラビア語をラテン語に翻訳する拠点となった。この都市で活躍した画家エル=グレコが描いた「トレド風景」は有名である。トレドの歴史に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。 37

- ① 西ゴート王国は、アッバース朝に滅ぼされた。
- ② トレドでは、アフガーニーの著作が多く翻訳された。
- ③ トレドの翻訳事業は、12世紀ルネサンスの開花に貢献した。
- ④ エル=グレコは、印象派の画家である。



(10) アンデス山中のクスコは、現在はペルーの一地方都市であるが、かつてはインカ帝国の首都として栄えた歴史がある。インカ帝国に関する a・b の記述の正誤の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④の中から1つ選べ。 40

a すぐれた鉄製武器を使用して、広大な領土を征服した。

b キープ（結縄）とよばれる情報記録手段が用いられた。

① a - 正      b - 正

② a - 正      b - 誤

③ a - 誤      b - 正

④ a - 誤      b - 誤